

さいぼくとう 柴朴湯エキス〔細粒〕82

柴朴湯（さいぼくとう）は小柴胡湯（しょうさいこうとう）と半夏厚朴湯（はんげこうぼくとう）を組み合わせた処方です。ストレスなどによって、不安感や気分の落ち込み、のどの異物感があり、めまいなどを伴う方におすすめで、不安神経症や虚弱体質の改善に効果があるほか、せきや気管支炎、小児ぜんそく・気管支ぜんそくに効く漢方薬です。

⚠️ • 使用上の注意 •

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

次の人は服用しないでください。

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
 - 高齢者
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
 - 次の症状のある人　むくみ
 - 次の診断を受けた人　高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

● 効能・効果 ●

体力中等度で、気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、かぜをひきやすく、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴うものの次の諸症：

小児ぜんそく、気管支ぜんそく、気管支炎、せき、不安神経症、虚弱体質

● 用法・用量 ●

次の量を食前又は食間に水又は温湯で服用してください。

（食間とは食後2～3時間を指します。）

年 齢	1 回 量		1日服用回数
	分包剤	大入り剤	
成人(15歳以上)	1 包	2.0 g	3 回
15歳未満7歳以上	2/3包	1.3 g	
7歳未満4歳以上	1/2包	1.0 g	
4歳未満2歳以上	1/3包	0.7 g	
2歳未満	1/4包	0.5 g 以下	

〔用法・用量に関連する注意〕

- 用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。



71008417

●成分・分量● 本品3包(6.0g)又は6.0gは

サイコ	3.5g	ニンジン	1.5g
ハンゲ	2.5g	カンゾウ	1.0g
ショウキョウ	0.5g	コウボク	1.5g
オウゴン	1.5g	ソヨウ	1.0g
タイソウ	1.5g	ブクリョウ	2.0g

上記より製した柴朴湯水製エキス4.6g（乾燥物換算で約2.3gに相当）を含有する細粒剤です。添加物としてメタケイ酸アルミン酸Mg、ヒプロメロース、乳糖、トウモロコシデンプン、香料を含有します。

●保管及び取扱い上の注意●

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (4)本剤は生薬を原料としていますので、製品により若干色調が異なることがありますが、効果には変わりありません。
- (5)分包剤で1包を分割した残りをを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

●お問い合わせ先●

松浦薬業株式会社 お客様相談窓口
TEL (052)883-5172 受付時間 10:00~17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売元

 松浦薬業株式会社
愛知県名古屋市中区昭和区円上町24-21